取扱説明書

MV-410RGB Layout Editor

MV-410RGB レイアウトエディタ

Version 2.1- higher

株式会社　朋栄

目次

登録商標

Microsoft Windows ® XP オペレーティングシステムは、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
.NET Framework は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
Pentium ®は米国 Intel Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

1. セットアップ

1-1. 概要

MV-410RGB レイアウトエディタは PC にインストールすることにより、MV-410RGB から出力される分割画面を自由にレイアウトすることができるソフトウェアです。4 種類（SPLIT1～4）の分割画面がプリセットでき、これらの画面は MV-410RGB の前面パネルから SPLIT ボタンを使って呼び出すことができます。
MV-410RGB と PC は LAN で接続します。

1-2. 動作環境

MV-410RGB レイアウトエディタは次の PC 環境で動作します。

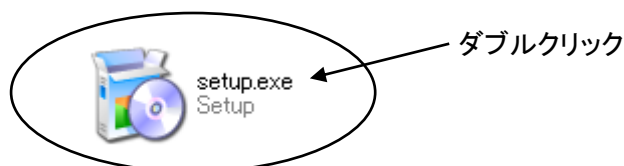
OS	Windows® XP operating system SP2 以降 Professional（32bit）	Windows® 7 operating system Professional (32/64bit)	Windows® 8 operating system (32/64bit)
CPU	Pentium® 4 processor 1.3GHz 以上	Intel® Core™ 2 Duo processor 2GHz 以上	Intel® Core™ 2 Duo processor 2GHz 以上
メモリ	512MB 以上	2GB 以上	2GB 以上
ディスプレイ	解像度 1024×768pixels 以上 フルカラー（24 ビット）表示可能であること。		
ネットワークポート	Ethernet　1 ポート以上 100BASE-TX/1000BASE-T		
ネットワークケーブル	100BASE-TX　：カテゴリ 5 以上 1000BASE-T　：カテゴリ 6、またはエンハンストカテゴリ 5		
ソフトウェア	Microsoft® .NET Framework 4.0（付属の CD-ROM に収録） Windows® Installer 4.5（付属の CD-ROM に収録）		

1-3. 操作の流れ

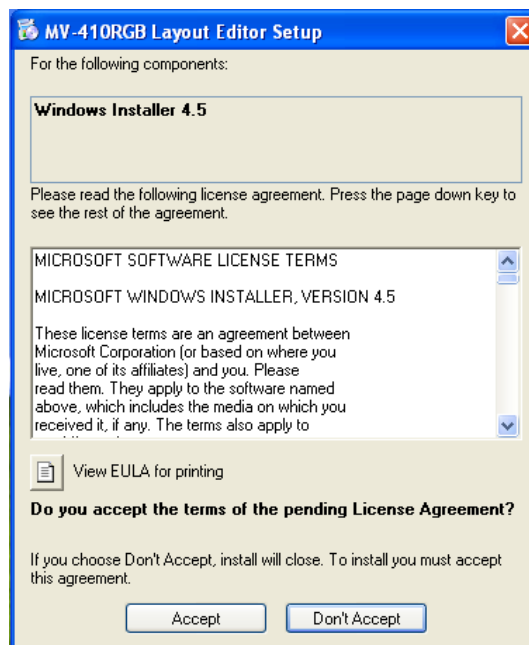
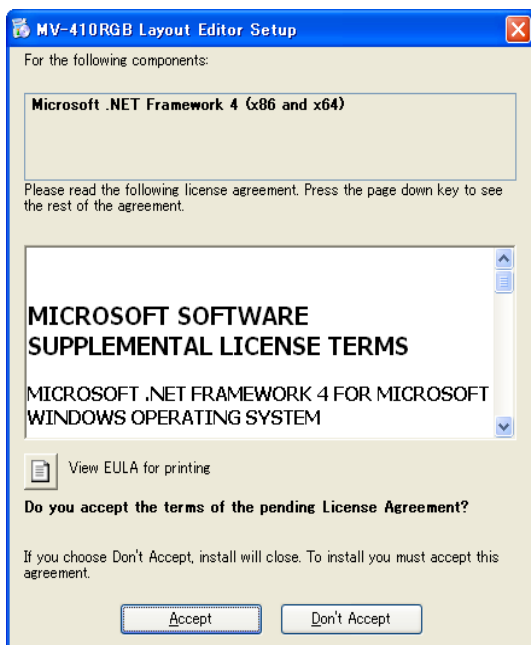
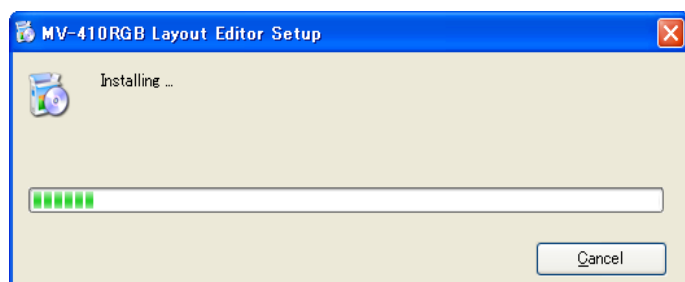
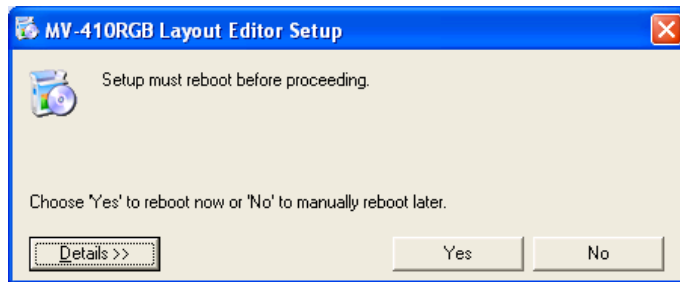
(1) MV-410RGB レイアウトエディタのインストール
(2) MV-410RGB と PC の接続
(3) MV-410RGB と MV-410RGB レイアウトエディタの起動
(4) 分割レイアウトの作成
(5) 分割レイアウトの表示

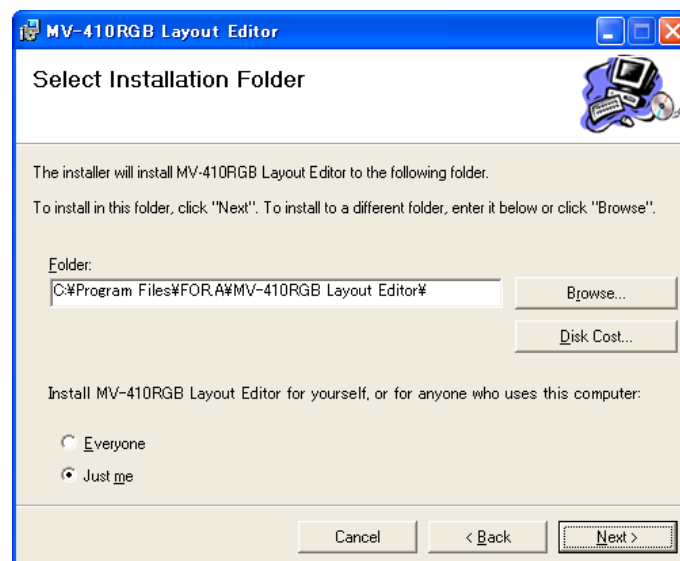
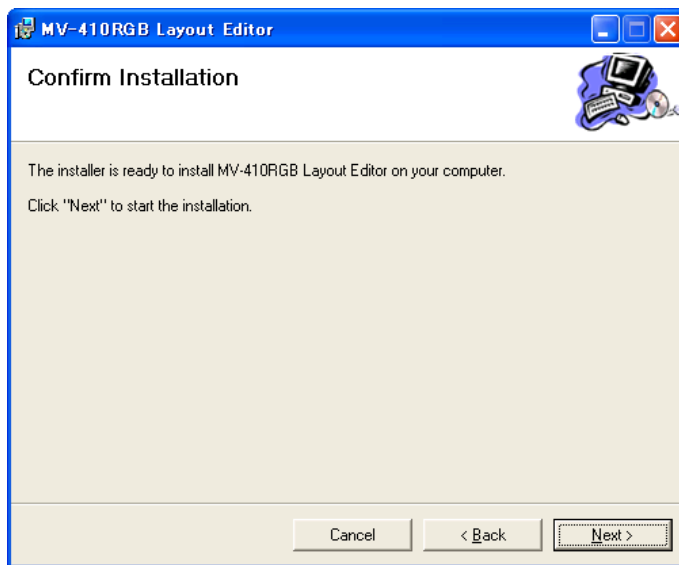
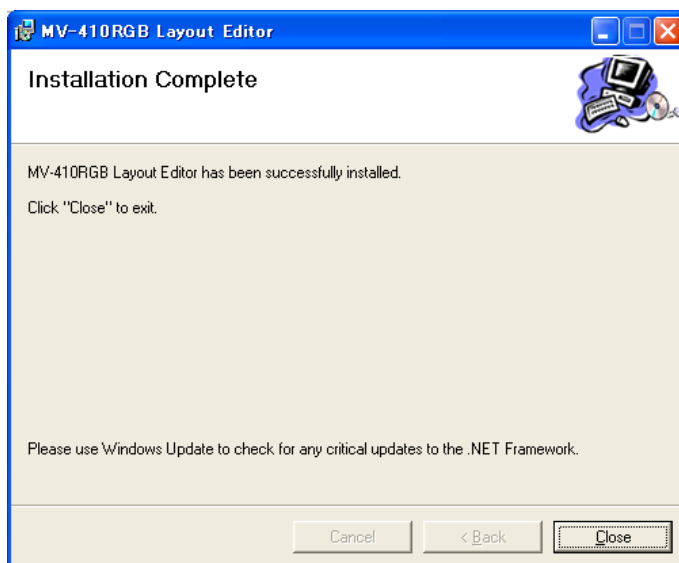
1-4. ソフトウェアのインストール

(1) 付属のインストール CD-ROM を PC にセットし、マイコンピュータ等から CD-ROM を開きフォルダ内の［setup.exe］をダブルクリックしてセットアップウィザードを起動します。

setup.exe
Setup
ダブルクリック

注意	CD-ROM の内容をフォルダにコピーしてインストールを行う場合は、フォルダ名に日本語を使用しないでください。インストールが正常に完了しないことがあります。

(2) PC に[.NET Framework 4.0]がインストールされていない場合は左の画面が表示されますので、Acceptをクリックします。PC に[.NET Framework 4.0]がインストール済みの場合は、この画面は表示されません。

(3) PC に[Windows Installer 4.5]がインストールされていない場合は右の画面が表示されますので、Acceptをクリックします。PC に[Windows Installer 4.5]がインストール済みの場合は、この画面は表示されません。

(4) PC に[.NET Framework 4.0]がインストールされていない場合は、[.NET Framework 2.0]のインストールが開始されます。

(5) [.NET Framework 4.0]のインストールが完了すると次の画面が表示され、PC の再起動を要求されます。Yesをクリックして PC を再起動してください。

(6) MV-410RGB Layout Editor のセットアップウィザードが起動したら、Next >をクリックします。

(7) インストールするフォルダを選択します。通常は変更する必要はありません。また、MV-410RGB Layout Editor を現在のユーザ用にインストールするか、またはすべてのユーザ用にインストールするかを選択します。初期値は現在のユーザのみです。各設定を選択後、Next>をクリックします。

(8) インストールの確認をします。通常は、そのまま Next> をクリックし、インストールを開始します。

(9) 正常にインストールが完了すると次の画面が表示されます。Close をクリックして、セットアップウィザードを終了します。

1-5. ソフトウェアのアンインストール

MV-410RGB Layout Editor を PC から削除する場合は、各 OS の取扱説明書を参照してアンインストールしてください。
[Microsoft .NET Framework 4.0]、[Windows Installer 4.5]はアンインストールする必要はありません。

◆ **Windows 8 の場合の例**

1) スタート画面を表示します。
2) 画面右上隅または下隅にマウスポインターを合わせて、表示されたチャームから設定を選択します。
3) 設定画面が表示されますので、コントロールパネルを選択します。
4) コントロールパネル画面が表示されますので、[プログラム]の[プログラムのアンインストール]を選択します。
5) プログラムと機能画面が表示されますので、[MV-410RGB Layout Editor]を選択し、アンインストールしてください。

※ユーザアカウント制御画面が表示された場合は、はい(Y)をクリックしてアンインストールを続けてください。

◆ **Windows 7 の場合の例（コントロールパネルがカテゴリ表示の場合）**

1) [スタート]→[コントロールパネル]→[プログラム－プログラムのアンインストール]を選択すると、[プログラムのアンインストールまたは変更]画面が表示されます。
2) プログラムの一覧から[MV-410RGB Layout Editor]を選択し、アンインストールしてください。

※ ユーザアカウント制御画面が表示された場合は、はい(Y)をクリックしてアンインストールを続けてください。

◆ **Windows XP の場合の例**

1) [スタート]→[コントロールパネル]→[プログラム－プログラムのアンインストール]を選択すると、[プログラムの追加と削除]画面が表示されます。
2) プログラムの一覧から[MV-410RGB Layout Editor]を選択し、アンインストールしてください。

1-6. 接続

MV-410RGB Layout Editor を使用する場合、MV-410RGB と PC は LAN インターフェースで接続します。接続方法によって使用するケーブルや機材が異なりますのでご注意ください。PC と MV-410RGB を直結する場合はクロス LAN ケーブルで接続します。ルータやハブを介して接続する場合は基本的にストレート LAN ケーブルを使用します。
通信規格は次の通りです。

プロトコル	TCP/IP プロトコル
IP アドレス	設定範囲：0.0.0.0 ～255.255.255.255 ただし、PC 側で設定可能な IP アドレスは次のように制限されているため、この範囲内で本体の IP アドレスを設定してください。 192 . 168 . 0 . 1 第 1 オクテット　第 2 オクテット　第 3 オクテット　第 4 オクテット 第 1 オクテット：1 ～ 223（ただし、127 は除く） 第 2 オクテット：0 ～ 255 第 3 オクテット：0 ～ 255 第 4 オクテット：1 ～ 254 ※本体 MENU 画面にて設定 ※初期化時設定は、「192.168.0.1」
サブネット マスク長	設定範囲：0～31 ※本体 MENU 画面にて設定 ※初期化時設定は、24
ゲートウェイ	設定範囲：0.0.0.0 ～255.255.255.255 ※本体 MENU 画面にて設定 ※「0.0.0.0」はゲートウェイが設定されていないことを意味します。 ※初期化時設定は、「0.0.0.0」
マックアドレス	工場出荷時に設定済み（変更不可） ※内容は本体 MENU 画面にて確認可能です。

1-7. PC のネットワーク設定

PC のネットワーク設定を、接続する MV-410RGB のネットワーク設定に合わせる必要があります。PC のネットワーク設定方法は OS によって異なりますので、詳しくは OS のマニュアルを参照してください。ここでは、工場出荷時設定の MV-410RGB に接続する際の設定例を示します。MV-410RGB の出荷時設定は次の通りです。

IP アドレス	192. 168. 0.1
サブネットマスク長	24
ゲートウェイ	0.0.0.0

◆ **Widows 8 の場合**

1) コントロールパネルを開き、「ネットワークとインターネット」→「ネットワークと共有センター」と進みます。
2) 「イーサネット」をクリックして「プロパティ」を選びます。
3) 「インターネットプロトコルバージョン 4 (TCP/IPv4)」をダブルクリックし、プロパティダイアログを開きます。
4) 内容を下記の例のように設定します。なお、IP アドレスを元に戻す必要がある場合は、現在の設定をメモで残しておいてください。

PC の IP アドレス	192.168.0.yyy （yyy は MV-410RGB 本体に設定した番号、およびゲートウェイの番号を除く 2～254 の任意の値です。この例では yyy=200 に設定しています。）
サブネットマスク	255.255.255.0 に設定します。

◆ **Windows 7 の場合**

1) コントロールパネルを開き、「ネットワークとインターネット」→「ネットワークと共有センター」と進みます。
2) 「イーサネット」を右クリックして「プロパティ」を選びます。
3) 「インターネットプロトコルバージョン 4 (TCP/IPv4)」をダブルクリックするとプロパティダイアログが開きますので、上記と同様に設定します。

◆ **Windows XP で［スタート］メニュー設定を変更していない場合**

タスクバーの［スタート］メニューからコントロールパネルを開き「ネットワーク接続」をダブルクリックします。「ローカルエリア接続」のアイコンを右クリックして「プロパティ」を開きます。全般の「インターネットプロトコル (TCP/IP)」をダブルクリックするとプロパティが開きますので、上記と同様に設定します。

◆ **Windows XP で［スタート］メニュー設定をクラシック[スタート]メニューに変更している場合**

タスクバーの［スタート］メニューから［設定］→［ネットワーク接続］を開き、「ローカルエリア接続」のアイコンを右クリックして「プロパティ」を開きます。全般の「インターネットプロトコル (TCP/IP)」をダブルクリックするとプロパティが開きますので、上記とと同様に設定します。

設定が終わったら OK をクリックして、すべてのウィンドウ（インターネットプロトコル、ローカルエリア接続のプロパティ）を閉じます。

2. ソフトウェアの起動と終了

2-1. ソフトウェアの起動

◆ **Windows 8 の場合の例：**

1) スタート画面を表示します。
2) タイルが表示されていないところで右クリックし、表示されたアプリバーから[全てのアプリ]を選択します。
3) アプリ画面が表示されますので、MV-410RGB Layout Editor アイコンを選択してソフトウェアを起動してください。

※ 複数起動する場合、MV-410RGB Layout Editor アイコンを右クリックして[新しいウインドウを開く]を選択します。

◆ **Windows 7 の場合の例：**

タスクバーの[スタート]メニューから[すべてのプログラム] → [FOR.A] →「MV-410RGB Layout Editor]を選択してソフトウェアを起動してください。

2-2. ソフトウェアの終了

ソフトウェアを終了させるにはウィンドウ右上の×をクリックしてください。

注意	ソフトウェアを閉じると編集中のレイアウトは破棄されますので、必要に応じて MV-410RGB へ保存、または PC にファイルとして保存を行ってください。

3. 画面の説明

3-1. メイン画面

本ソフトウェアを起動すると次の画面が表示されます。

3-1-1. MV-410RGB 選択ボックス

(1)　IP アドレス

接続したい MV-410RGB の IP アドレスを入力します。

(2)　ID

MV-410RGB 本体で設定した ID を入力します。

(3)　パスワード

MV-410RGB 本体で設定したパスワードを入力します。

3-1-2. ファイルボタン

(1) 新規作成

レイアウトの新規作成を行います。

注意	レイアウトの新規作成を行う場合、編集中のレイアウトは破棄されます。必要に応じて MV-410RGB へ保存、または PC にファイルとして保存してください。

(2) 開く

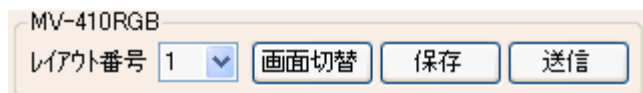
PC に保存してあるレイアウトファイルを開きます。

注意	PC に保存してあるレイアウトを開く場合、編集中のレイアウトは破棄されます。必要に応じて MV-410RGB へ保存、または PC にファイルとして保存してください。

(3) 保存

編集中のレイアウトを PC にファイルとして保存します。

注意	システム設定およびレイアウト設定の内容も、レイアウトファイルとして保存されます。

3-1-3. レイアウト転送ボタン

(1) レイアウト番号

レイアウトの編集や保存をおこなうレイアウト番号を選択します。MV-410RGB 本体に保存できるレイアウト数は、1～4 までの 4 パターンです。

編集するレイアウト番号を選択すると、MV-410RGB 本体からレイアウト編集エリアに現在のレイアウトを読み込みます。

注意	MV-410RGB から出力されているレイアウト番号と同じ番号を選択した場合、レイアウト編集エリアでの編集結果がリアルタイムで MV-410RGB の出力に反映されるため、レイアウトの確認が容易に行えます。ただし、編集内容は MV-410RGB への保存を実行しない限り、MV-410RGB には保存されないため電源を落とした場合は編集結果は消去されます。必ずレイアウトの編集が完了した際は、MV-410RGB への保存を行ってください。

ソフトウェアを起動した直後はレイアウト番号は空欄となっています。この状態の場合、MV-410RGB と通信を行わない状態（オフライン）でレイアウトの作成が行えます。作成したレイアウトは PC にファイルとして保存し、後で MV-410RGB と通信した際にファイルを読み出して MV-410RGB に保存することが可能です。

(2) 画面切替

MV-410RGB からの出力画面をレイアウト番号で選択した画面に切替えます。

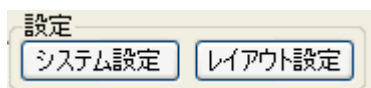
(3) 保存

編集中のレイアウトを MV-410RGB に保存します。

注意	MV-410RGB への保存を行わないで MV-410RGB の電源を落とした場合、変更したレイアウトは消去されます。レイアウトの編集が完了した際は、必ず MV-410RGB への保存を行ってください。

(4) 送信

編集中のレイアウトを MV-410RGB に送信します。通常はレイアウト編集エリアでの編集結果はリアルタイムで MV-410RGB に送信されるため送信ボタンをクリックする必要はありません。通信異常等でレイアウト編集エリアの表示と MV-410RGB からの出力が整合していない状態となった場合は送信を実行してください。

3-1-4. 設定切換えボタン

(1) システム設定

MV-410RGB のシステム全体およびフル画面表示時の設定を行います。

詳細は「3-2. システム設定画面」を参照してください。

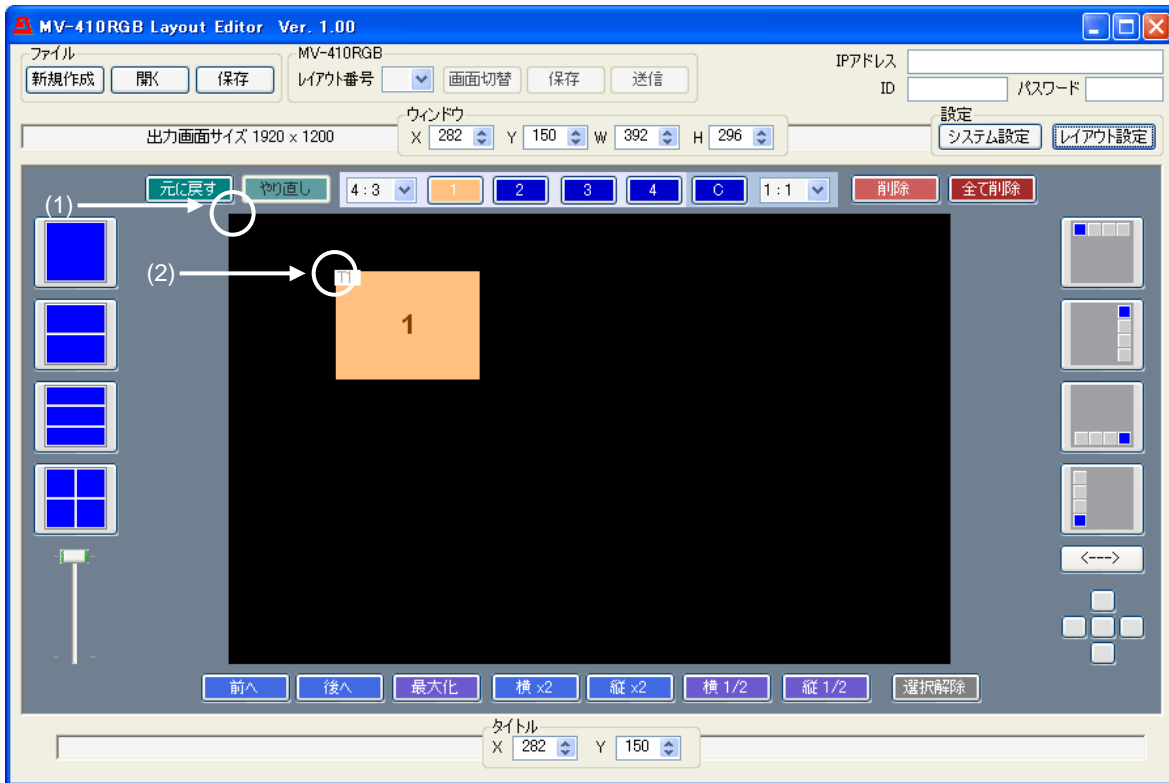
注意	システム設定画面表示中はレイアウト編集はできません。レイアウト編集を行う場合はシステム設定画面を閉じてください。

(2) レイアウト設定

編集中のレイアウト画面毎の設定を行います。

詳細は「3-3. レイアウト設定画面」を参照してください。

注意	レイアウト設定画面表示中はレイアウト編集はできません。レイアウト編集を行う場合はレイアウト設定画面を閉じてください。

3-1-5. レイアウト編集エリア／編集ツール

(1)　レイアウト編集エリアの基準位置

レイアウト編集エリアでは、左端と上端の座標（0, 0）が基準となっています。

X 軸（横方向）は、右端が最大値となります。

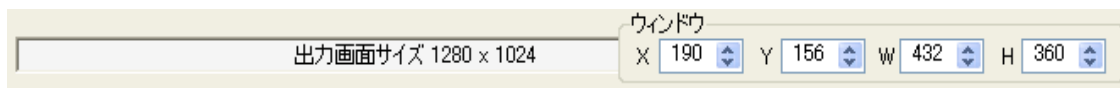
Y 軸（縦方向）は、下端が最大値となります。

(2)　ウィンドウの基準位置

ウィンドウは、左端＝X、上端＝Y として、この座標を基準に配置します。

注意	ウィンドウを配置できる座標の範囲は、出力画面サイズにより異なります。

(3)　出力画面サイズ

選択しているレイアウト編集画面の出力画面サイズを表示します。

注意	出力画面サイズの選択はレイアウトの新規作成時のみ可能です。MV-410RGB から読み込んだレイアウト、PC から開いたレイアウトの出力画面サイズは変更できません。

(4)　ウィンドウ表示位置（X、Y）

選択しているウィンドウの位置座標を表示します。また、数値を変更することでウィンドウの位置を変更することも可能です。

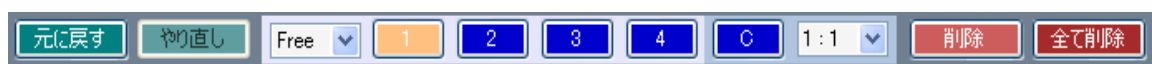
注意	ウィンドウの表示位置は横方向、縦方向とも 2 ピクセル単位で設定可能です。

(5)　ウィンドウサイズ（W、H）

選択しているウィンドウのサイズを表示します。また、数値を変更することでウィンドウのサイズを変更することも可能です。アスペクト比が Free 以外に設定されている場合は、W（横方向）または H（縦方向）の一方を変更した場合、アスペクト比を維持するため、もう一方の値も自動的に更新されます。

注意	ウィンドウのサイズは横方向、縦方向ともに 8 ピクセル単位です。 上記制限により、厳密に指定したアスペクト比にならない場合があります。

(6)　元に戻す

最新の動作をキャンセルします。

(7)　やり直し

元に戻すでキャンセルした動作を再度実行します。

(8)　アスペクト比

選択しているウィンドウのアスペクト比（縦横比）を設定します。ウィンドウのサイズを変更する場合、ここで設定したアスペクト比を維持しながらサイズの変更が可能です。

16:9	1360×768 など 16:9 のアスペクト比の映像を表示するウィンドウの場合に選択します。
4:3	1024×768 など 4:3 のアスペクト比の映像を表示するウィンドウの場合に選択します。
1:1	クロック表示用ウィンドウのみ選択可能です。
Free	アスペクト比を固定せずにウィンドウのサイズ変更が可能となります。

注意	1 の左側の設定はビデオ信号表示用ウィンドウの設定です。C の右側の設定はクロック表示用ウィンドウの設定です。

(9)　ウィンドウの追加・選択

設定を変更するウィンドウを選択します。1～4 をクリックした場合、クリックした番号のウィンドウが選択されます。C をクリックした場合、時計表示ウィンドウが選択されます。レイアウト編集エリアに表示されていないウィンドウを選択した場合は、レイアウト編集エリアに選択したウィンドウが追加されます。

注意	ウィンドウに表示されている番号と、実際に表示される入力映像のチャネル番号は同一です。

(10) ウィンドウの削除

削除をクリックした場合、選択しているウィンドウをレイアウト編集エリアから削除します。全て削除をクリックした場合、全てのウィンドウをレイアウト編集エリアから削除します。

(11) プリセットパターンの選択

編集エリア左側の分割画面アイコンをクリックすることでアイコンが示している分割画面のプリセットパターンを選択することができます。同じ分割画面数で複数のプリセットパターンがある場合は、分割画面アイコンの下のレバーでパターンを選択することができます。また、アイコンをクリックし続けると、クリックする度にプリセットパターンが変化します。

(12) 1/4 サイズウィンドウの追加・位置移動

編集エリア右側のアイコンをクリックすることで出力画面サイズに対して水平、垂直方向 1/4 サイズのウィンドウをそれぞれの位置から順番に表示させます。
矢印ボタンは表示開始を上下左右逆転させます。

十字に配置された 5 つのボタンは、選択したウィンドウを上下左右それぞれの方向にある他のチャネルのウィンドウとの接点、あるいはその方向に他のウィンドウが無い場合には表示画面端に即時移動させます。真ん中のボタンは選択したウィンドウを画面中心に移動させます。

(13) 前へ

選択しているウィンドウの表示順序を最前面に設定します。

(14) 後へ

選択しているウィンドウの表示順序を最背面に設定します。

(15) 最大化

選択しているウィンドウのサイズを現在選択している出力画面サイズに入る最大値となるように設定します。アスペクト比が Free 以外に設定されている場合は、アスペクト比を維持した状態で最大の表示となるように調整します。

(16) 横×2

選択しているウィンドウの横方向のサイズを現在の 2 倍に設定します。アスペクト比が Free 以外に設定されている場合は、アスペクト比を維持した状態で 2 倍になるように設定します。

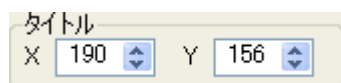
(17) 縦×2

選択しているウィンドウの縦方向のサイズを現在の 2 倍に設定します。アスペクト比が Free 以外に設定されている場合は、アスペクト比を維持した状態で 2 倍になるように設定します。

(18) 横　1/2

選択しているウィンドウの横方向のサイズを現在の 1/2 に設定します。アスペクト比が Free 以外に設定されている場合は、アスペクト比を維持した状態で 1/2 になるように設定します。

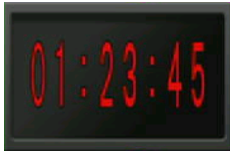
(19) 縦　1/2

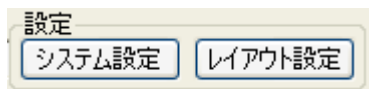
選択しているウィンドウの縦方向のサイズを現在の 1/2 に設定します。アスペクト比が Free 以外に設定されている場合は、アスペクト比を維持した状態で 1/2 になるように設定します。

(20) 選択解除

ウィンドウの選択を解除します。

(21) タイトル表示位置（X、Y）

選択しているウィンドウのタイトル位置の座標を表示します。また、数値を変更することでタイトルの表示位置を変更することも可能です。

タイトル表示位置の基準は左端＝X、上端＝Y となります。

3-2. システム設定画面

メイン画面から設定のシステム設定をクリックするとシステム設定画面が表示されます。

3-2-1. システム設定

システムタブを選択すると以下のような設定画面が表示されます。

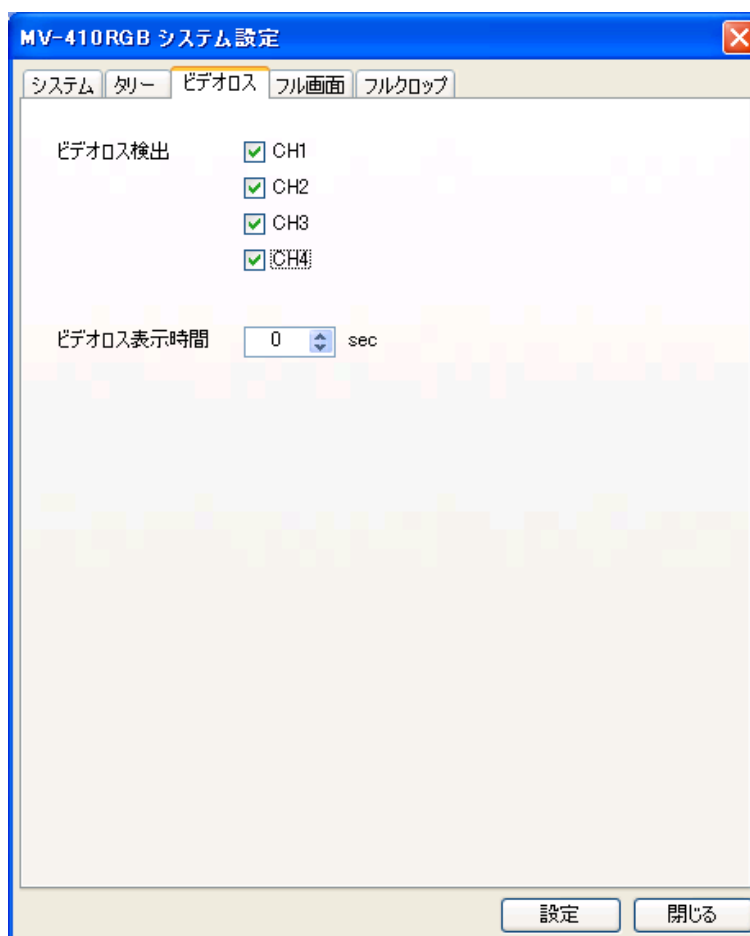
項目	内容
日付・時刻	変更ボタンをクリックしてから、MV-410RGB に設定する日付・時刻を入力します。設定ボタンをクリックすると MV-410RGB に設定が反映されます。
時計タイプ	表示する時計のタイプを選択します。 ※ 下記、イメージ図 ＜アナログ 1＞　＜アナログ 2＞　＜デジタル 1＞ 枠の色が濃い　＜デジタル 2＞ 枠の色が薄い
画面表示モード	画面出力の表示モードを選択します。 **MODE1** 【フル画面表示の場合】 映像にタイトルが重ならないように表示します。映像部分のアスペクト比は入力信号のアスペクト比を保ちます。 【分割画面表示の場合】 入力されているビデオ信号のアスペクト比を自動検出し、各ウィンドウ内でアスペクト比を保った状態で最大表示されるように調整します。 **MODE2** 【フル画面表示の場合】 映像にタイトルが重なって表示されます。映像部分のアスペクト比は入力信号のアスペクト比を保ちます。 【分割画面表示の場合】 入力されているビデオ信号のアスペクト比を自動検出し、各ウィンドウ内でアスペクト比を保った状態で最大表示されるように調整します。 **MODE3** 【フル画面表示の場合】 入力信号のアスペクト比を保たず、映像を出力画面サイズいっぱいに表示します。タイトルは映像部分に重なって表示されます。 【分割画面表示の場合】 入力されているビデオ信号のアスペクト比に関係なく、ウィンドウ内いっぱいに表示されます。
出力周波数	MV-410RGB から出力する周波数を 60Hz、59.94Hz、50Hz から選択します。各周波数表示はおおよその周波数です。
設定	変更内容を MV-410RGB に設定します。MV-410RGB への保存を行わないで MV-410RGB の電源を落とした場合、変更内容は消去されます。必ずメイン画面にて MV-410RGB への保存を行ってください。
閉じる	システム設定画面を閉じてメイン画面に戻ります。

3-2-2. タリー設定

タリータブを選択すると以下のような設定画面が表示されます。

項目	内容
タリー検出	タリー検出の ON・OFF を設定します。チェックを入れるとタリー検出が有効になります。
同時タリー入力	赤および緑のタリーが同時に入力された場合のタリー表示を設定します。 **＜RED＞** 赤および緑のタリーが同時に入力された場合に赤のフレームタリーを表示します。 **＜UMBER＞** 赤および緑のタリーが同時に入力された場合にオレンジのフレームタリーを表示します。
設定	変更内容を MV-410RGB に設定します。MV-410RGB への保存を行わないで MV-410RGB の電源を落とした場合、変更内容は消去されます。必ずメイン画面にて MV-410RGB への保存を行ってください。
閉じる	システム設定画面を閉じてメイン画面に戻ります。

3-2-3. ビデオロス設定

ビデオロスタブを選択すると以下のような設定画面が表示されます。

項目	内容
ビデオロス検出	ビデオロス検出の ON・OFF を設定します。チェックを入れるとビデオロス検出が有効になります。
ビデオロス表示時間	ビデオロスを検出した場合、検出したウィンドウにアラームを表示します。ここではアラームの表示時間を 00 秒～100 秒の範囲で設定します。00 秒に設定した場合は、ビデオ信号が復帰するか、MV-410RGB の出力画面を切替えるまでアラームを表示し続けます。
設定	変更内容を MV-410RGB に設定します。MV-410RGB への保存を行わないで MV-410RGB の電源を落とした場合、変更内容は消去されます。必ずメイン画面にて MV-410RGB への保存を行ってください。
閉じる	システム設定画面を閉じてメイン画面に戻ります。

3-2-4. フル画面設定画面

フル画面タブを選択すると以下のような設定画面が表示されます。

項目	内容
フル画面出力	フル画面出力時の出力画面サイズを以下の値から選択します。 1280×1024、1360×768、 1600×1200、1920×1200、 1440×900、 1680×1050、1920×1080、1280×720
タイトル表示	フル画面表示時のタイトル表示の ON・OFF を設定します。チェックを入れるとタイトル表示が有効になります。
タイトル	表示するタイトルを設定します。16 文字まで設定可能です。
文字サイズ	文字サイズを SMALL、MEDIUM、LARGE から選択します。
色	タイトルの表示色を WHITE、YELLOW、GREEN、CYAN、RED、MAGENTA、BLUE、GRAY、BLACK から選択します。
設定	変更内容を MV-410RGB に設定します。MV-410RGB への保存を行わないで MV-410RGB の電源を落とした場合、変更内容は消去されます。必ずメイン画面にて MV-410RGB への保存を行ってください。
閉じる	システム設定画面を閉じてメイン画面に戻ります。

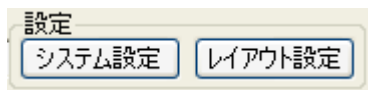
3-2-5. フルクロップ設定

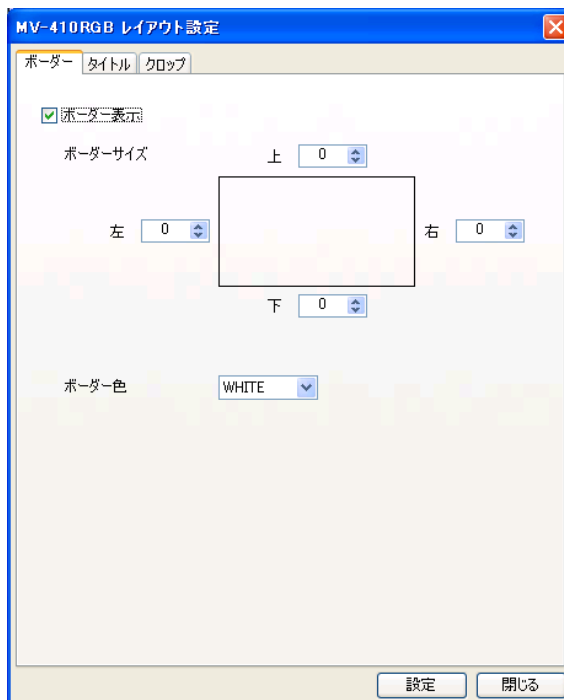
フルクロップタブを選択すると以下のような設定画面が表示されます。この画面ではフル画面出力時の映像クロップの設定をします。

項目	内容
クロップ(上)	映像上端をクロップします。0〜1200（4 の倍数）の範囲で設定します。
クロップ(下)	映像下端をクロップします。0〜1200（4 の倍数）の範囲で設定します。
クロップ(左)	映像左端をクロップします。0〜960（4 の倍数、1=2pixels）の範囲で設定します。
クロップ(右)	映像右端をクロップします。0〜960（4 の倍数、1=2pixels）の範囲で設定します。
設定	変更内容を MV-410RGB に設定します。MV-410RGB への保存を行わないで MV-410RGB の電源を落とした場合、変更内容は消去されます。必ずメイン画面にて MV-410RGB への保存を行ってください。
閉じる	システム設定画面を閉じてメイン画面に戻ります。

注意	入力フォーマットの画面サイズを超えた設定をした場合には、映像が乱れます。上下の合計および左右の合計が画面サイズを超えないように設定してください。

3-3. レイアウト設定画面

メイン画面から設定のレイアウト設定をクリックするとレイアウト設定画面が表示されます。この設定画面では、レイアウト毎に設定可能なパラメータを設定します。

3-3-1. ボーダー設定画面

ボーダータブを選択すると以下のような設定画面が表示されます。

項目	内容
ボーダー表示	ボーダー表示の ON・OFF を設定します。チェックを入れるとボーダー表示が有効になります。
ボーダーサイズ（上）	映像上端のボーダーサイズを 0～50 の範囲で設定します。
ボーダーサイズ（下）	映像下端のボーダーサイズを 0～50 の範囲で設定します。
ボーダーサイズ（左）	映像左端のボーダーサイズを 0～50 の範囲で設定します。
ボーダーサイズ（右）	映像右端のボーダーサイズを 0～50 の範囲で設定します。
ボーダー色	ボーダーの色を WHITE、YELLOW、CYAN、MAGENTA、BLUE、GRAY、BLACK から選択します。
設定	変更内容を MV-410RGB に設定します。MV-410RGB への保存を行わないで MV-410RGB の電源を落とした場合、変更内容は消去されます。必ずメイン画面にて MV-410RGB への保存を行ってください。
閉じる	レイアウト設定画面を閉じてメイン画面に戻ります。

注意	ウィンドウの最小サイズは 120(W)×80(H)です。ビデオ信号の表示領域は 96(W)×56(H)以上必要なため、ウィンドウサイズが小さく、ボーダーの表示幅が太く設定されている場合は、自動的にボーダーが細く表示されます。

3-3-1. タイトル設定画面

タイトルタブを選択すると以下のような設定画面が表示されます。

項目	内容
タイトル表示	タイトル表示の ON・OFF を設定します。チェックを入れるとタイトル表示が有効になります。
タイトル	表示するタイトルを設定します。16 文字まで設定可能です。
文字サイズ	文字サイズを SMALL、MEDIUM、LARGE から選択します。
色	タイトルの表示色を WHITE、YELLOW、GREEN、CYAN、RED、MAGENTA、BLUE、GRAY、BLACK から選択します。
設定	変更内容を MV-410RGB に設定します。MV-410RGB への保存を行わないで MV-410RGB の電源を落とした場合、変更内容は消去されます。必ずメイン画面にて MV-410RGB への保存を行ってください。
閉じる	レイアウト設定画面を閉じてメイン画面に戻ります。

3-3-2. レイアウトクロップ設定

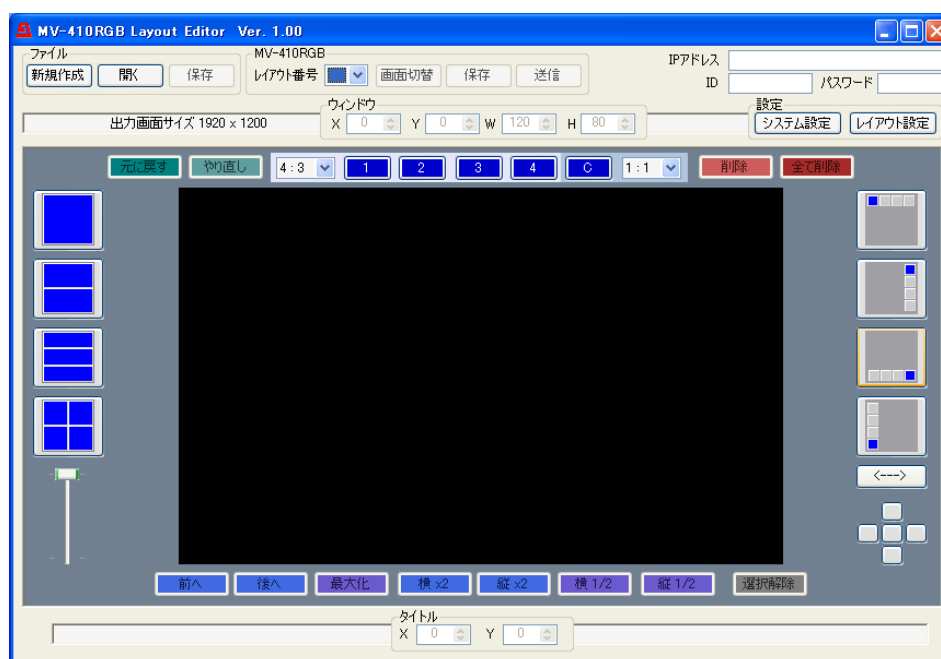
レイアウトクロップタブを選択すると以下のような設定画面が表示されます。この画面では分割画面出力時の映像クロップの設定をします。

項目	内容
クロップ(上)	映像上端をクロップします。0～1200（4 の倍数）の範囲で設定します。
クロップ(下)	映像下端をクロップします。0～1200（4 の倍数）の範囲で設定します。
クロップ(左)	映像左端をクロップします。0～960（4 の倍数、1=2pixels）の範囲で設定します。
クロップ(右)	映像右端をクロップします。0～960（4 の倍数、1=2pixels）の範囲で設定します。
設定	変更内容を MV-410RGB に設定します。MV-410RGB への保存を行わないで MV-410RGB の電源を落とした場合、変更内容は消去されます。必ずメイン画面にて MV-410RGB への保存を行ってください。
閉じる	システム設定画面を閉じてメイン画面に戻ります。

注意	入力フォーマットの画面サイズを超えた設定をした場合には、映像が乱れます。上下の合計および左右の合計が画面サイズを超えないように設定してください。

4. 操作方法

4-1. ソフトウェアの起動および通信の確立

タスクバーの[スタート]メニューから[すべてのプログラム] → [FOR.A] → 「MV-410RGB Layout Editor]を選択してソフトウェアを起動してください。
本ソフトウェアを起動すると次の画面が表示されます。

IP アドレス欄に接続したい MV-410RGB の IP アドレス、ID、パスワードを入力します。

MV-410RGB の初期設定値は以下の通りです。

IP アドレス： 192.168.0.1
ID： ROOT
パスワード： 00000

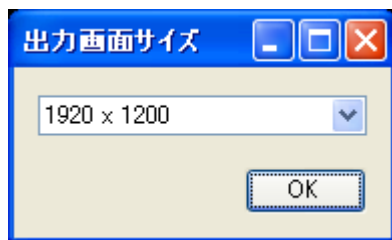
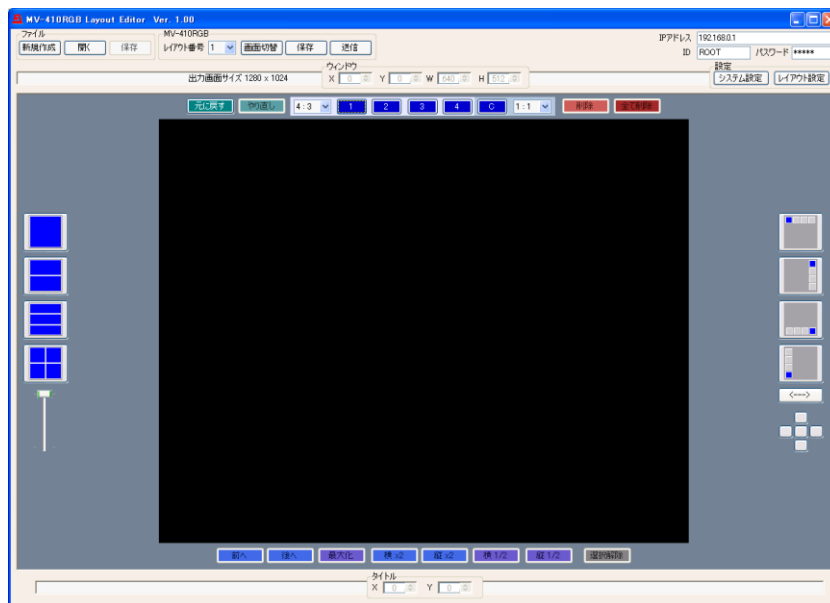
上図のように通信エラーが表示された場合は、IP アドレス、ID、パスワードが正しく設定されていることを確認してください。

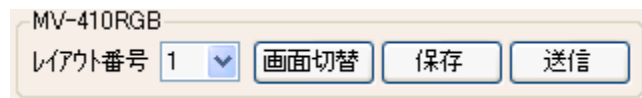
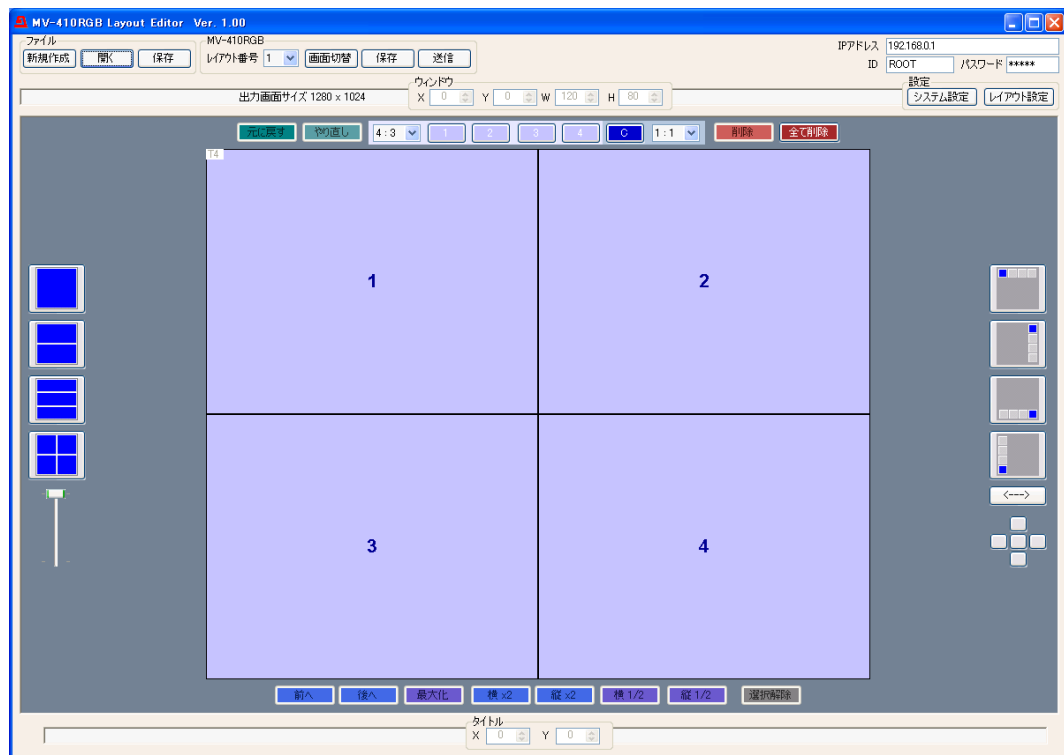
4-2. レイアウトの新規作成／読み込み

レイアウトを新規に作成する、または MV-410RGB から読み込んだレイアウトの編集をします。一度作成したレイアウトは PC に保存し、読み込んで編集することもできます。新規に作成する場合のみ、出力画面サイズを選択することができます。MV-410RGB から読み込んだレイアウトと PC に保存しておいたレイアウトの出力画面サイズは変更できません。

4-2-1. レイアウトの新規作成

(1) レイアウトを新規に作成する場合は、新規作成するレイアウト番号を 1～4 から選択し、メイン画面上部ファイルの新規作成をクリックします。

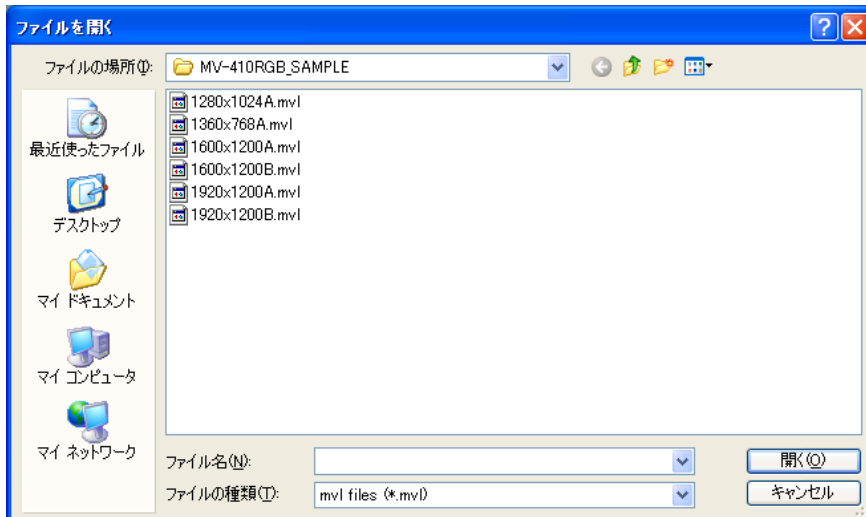
(2) 出力画面サイズの選択画面が表示されますので、設定したい出力画面サイズを選択し、OKをクリックします。

(3) 開いているメイン画面のレイアウト編集エリアで、ウィンドウを追加、移動、サイズ設定などその他の設定を行います。（編集操作については「4-3. レイアウトの編集」を参照してください。）

4-2-2. 既存レイアウトの読み込み

MV-410RGB の本体から読み込んだレイアウトを修正する場合は、編集するレイアウトをメイン画面上部 MV-410RGB で、レイアウト番号 1～4 から選択します。

レイアウト番号 1～4 は、MV-410RGB 本体前面の VIDEO SELECT 1 ～ 4 ボタンの画面レイアウトに対応しています。
編集するレイアウトを選択すると、MV-410RGB 本体からレイアウト編集エリアに現在のレイアウトを読み込み、下図のように読み込んだレイアウトを表示します。レイアウトの編集を行ってください。（編集操作については「4-3. レイアウトの編集」を参照してください。）
画面切替 をクリックすると、MV-410RGB の出力画面をレイアウト番号で選択した画面に切替えることができます。

編集するレイアウト番号の画面を MV-410RGB から出力すると、レイアウト編集エリアでの編集結果がリアルタイムで MV-410RGB の出力に反映されるため、レイアウトの確認が容易に行えます。

注意	出力画面サイズの選択は新規作成時のみ可能です。MV-410RGB から読み込んだレイアウト、PC に保存しておいたレイアウトの出力画面サイズは変更できません。

4-2-3. 保存済みレイアウトの読み込み

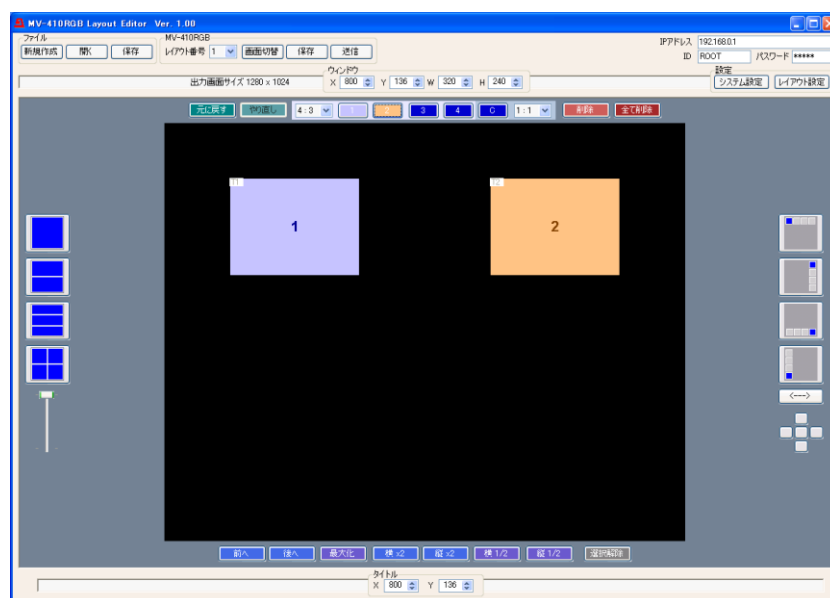
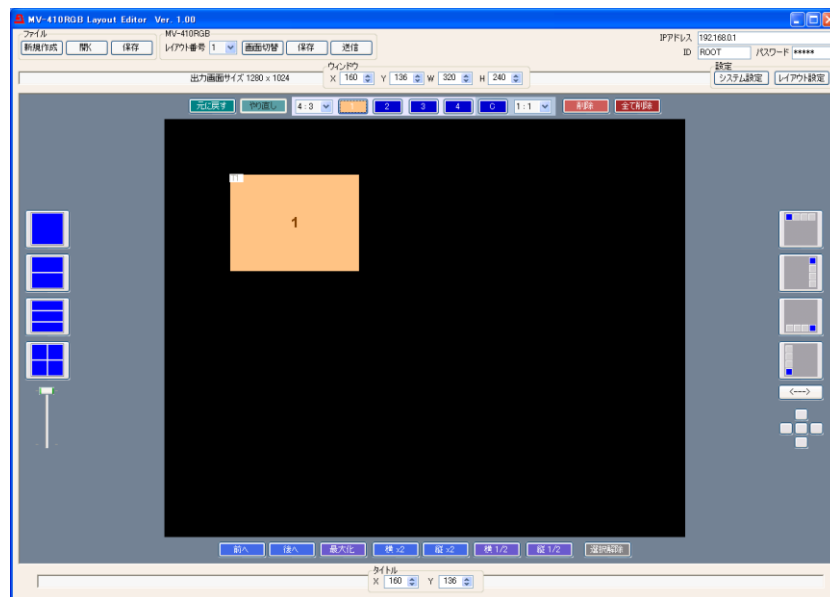
(1) PC に保存済みのレイアウトを編集する場合は、ファイルの開くをクリックします。

(2) 修正を行いたいレイアウトファイルを選択して、開くをクリックするとレイアウトがロードされます。

注意	出力画面サイズの選択は新規作成時のみ可能です。MV-410RGB から読み込んだレイアウト、PC に保存しておいたレイアウトの出力画面サイズは変更できません。

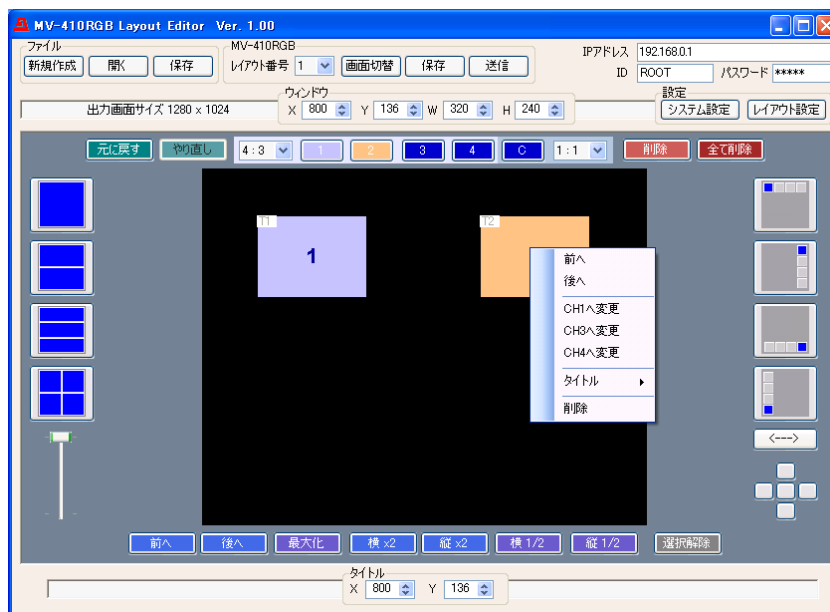
4-3. レイアウトの編集

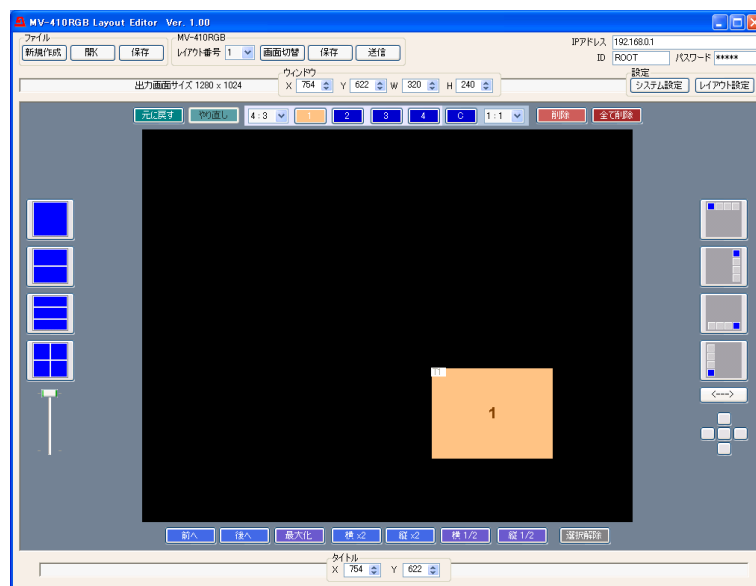
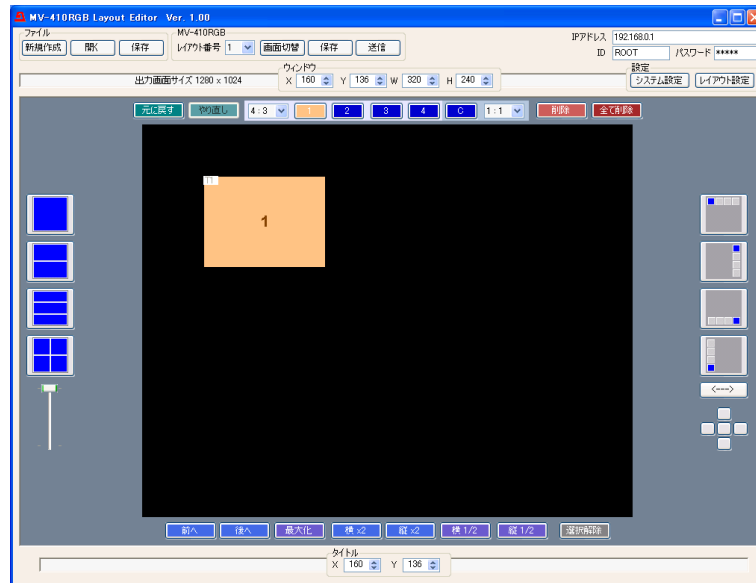
4-3-1. ウィンドウの追加

ウィンドウの追加は、1〜4、C ボタンで行います。

レイアウト編集エリアに表示されていないウィンドウの番号をクリックするとウィンドウが追加されます。追加できるウィンドウは最大で映像ウィンドウが 4 つ、クロックウィンドウが 1 つです。

4-3-2. ウィンドウの削除

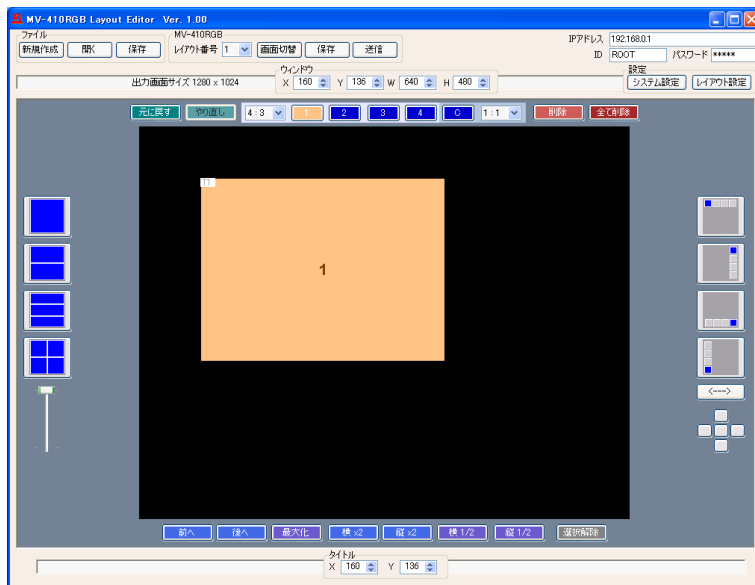
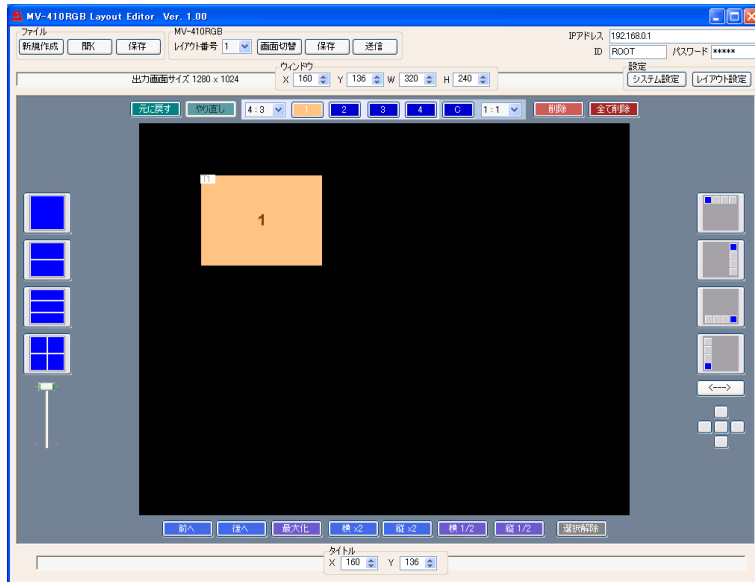
ウィンドウの削除は、削除したいウィンドウをマウスで選択し、削除をクリックします。編集エリアに表示されている全てのウィンドウを削除する場合は、全て削除をクリックします。

また、削除したいウィンドウをマウスで選択し、右クリックメニューで削除を選択して削除することもできます。

4-3-3. ウィンドウの移動

ウィンドウを移動する場合は、移動したいウィンドウにポインタを合わせ、マウス操作で目的の位置までドラッグし、離します。

また、編集エリア上部の X、Y の数値を変更する、あるいは、キーボードの矢印キーでも移動させることができます。この場合も、まずポインタを合わせて移動したいウィンドウを選択してください。移動はウィンドウ一つずつ行います。

注意	ウィンドウの位置を移動した場合、そのウィンドウのタイトルも連動して移動します。タイトルがウィンドウ外に配置されている場合、編集エリアの端にぶつかった場合は、映像ウィンドウ内に移動します。

4-3-4. ウィンドウのサイズ指定

ウィンドウのサイズを変更する場合は、変更したいウィンドウの端にカーソルを合わせドラッグします。ウィンドウを目的の大きさに変更したらマウスの左ボタンを離します。
また、サイズを変更したいウィンドウを選択してから、ウィンドウの W、H の数値を設定することでもサイズを変更することができます。

アスペクト比で Free 以外を選択している場合は、アスペクト比を保ったままサイズの変更を行います。
最大化、横 x2、縦 x 2、横 1/2、縦 1/2 をクリックすることでもサイズの変更が可能です。
実際にビデオ信号が表示されるサイズは、設定したウィンドウサイズからタリー表示およびボーダー表示の部分を除いた領域となります。

注意

- ウィンドウの最小サイズは 120(W)×80(H)です。ビデオ信号の表示領域は96(H)×56(H)以上必要なため、ウィンドウサイズが小さく、ボーダーの表示幅が太く設定されている場合は、自動的にボーダーが細く表示されます。
- 分割画面表示時の各ウィンドウ内のビデオ信号の表示方法は、システム設定の画面表示モードの設定により異なります。

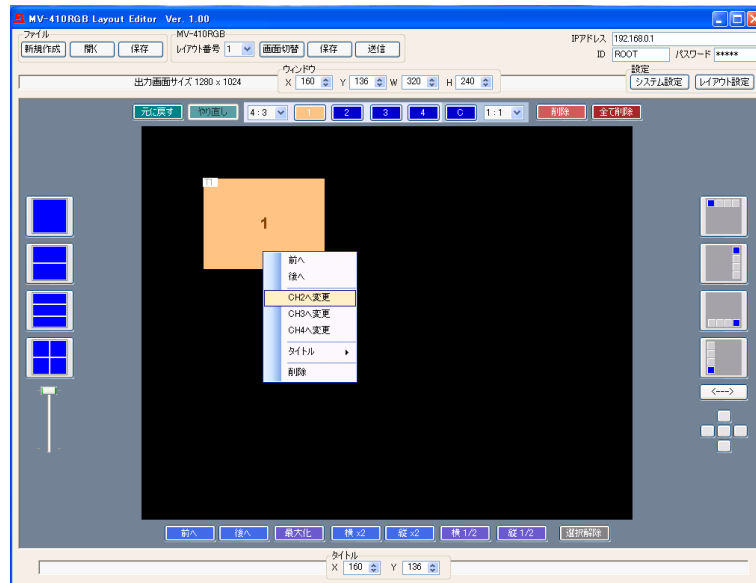
＜MODE1 および MODE2 選択時＞

入力されているビデオ信号のアスペクト比を自動検出し、アスペクト比を保った状態でウィンドウ内に最大表示されるよう調整します。

＜MODE3 選択時＞

入力されているビデオ信号のアスペクト比に関係なく、ウィンドウ内いっぱいに表示されます。

4-3-5. ウィンドウのチャネル変更

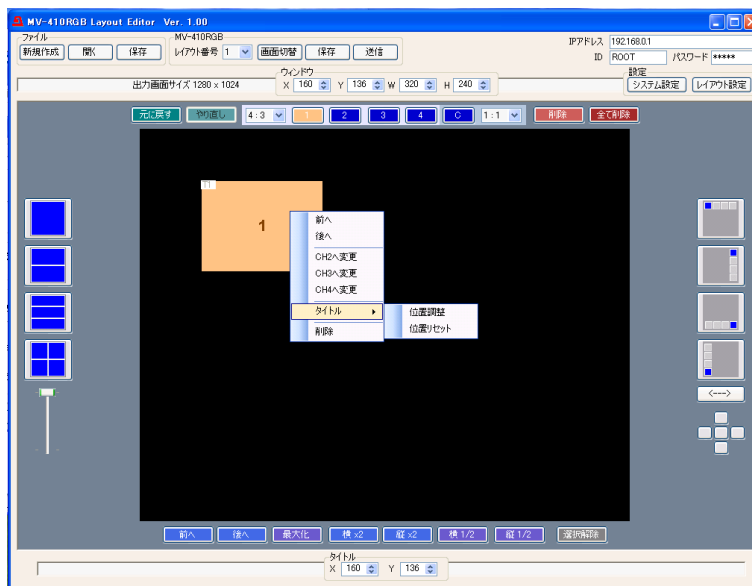
ウィンドウの表示チャネルを変更する場合は、変更したいウィンドウを選択し、マウスの右ボタンをクリックし、メニューを表示します。メニューからウィンドウに表示したいチャネルを選択します。

注意

同じチャネルの映像を複数のウィンドウに表示することはできません。既にレイアウト編集エリアに存在するチャネルに変更した場合、それぞれのウィンドウ番号（チャネル）が入れ替わります。

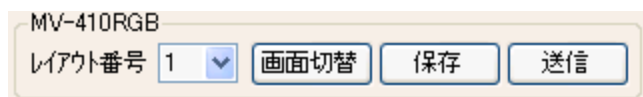
4-3-6. ウィンドウの表示順序の変更

複数のウィンドウを重ねて配置し、ウィンドウの表示順序を変更したい場合は次の手順で表示順序を変更します。
表示順序を変更したいウィンドウを選択し、選択したウィンドウを最前面に表示したい場合は前へをクリックします。最背面に表示したい場合は後へをクリックします。また、ウィンドウを選択して、右クリックメニューから[前へ]、[後へ]を選択して表示順序を変更することも可能です。

4-3-7. タイトルの表示位置の変更

タイトルの表示位置を移動する場合は、移動したいタイトルのウィンドウをマウスで選択します。右クリックメニューで[タイトル→位置調整]を選択するとマウスカーソルにタイトル表示位置が連動しますので、表示したい位置にカーソルを移動します。タイトルが目的の位置までできたらマウスの左ボタンをクリックします。
また、位置を移動したいウィンドウを選択してから、編集エリア下部の設定ボックスでタイトルの X、Y の数値を設定することでもタイトルの表示位置を変更することが可能です。

タイトルの表示位置を初期値に戻したい場合は、マウスの右クリックメニューからタイトル→位置リセットを選択します。

4-4. MV-410RGB へのレイアウトの保存

MV-410RGB とレイアウトエディタとの通信が確立している場合、レイアウトの変更は常時 MV-410RGB の出力へ反映されます。ただし、MV-410RGB のメモリへはバックアップされていないため、電源を落とした場合はそれまでのレイアウトは消去されます。
編集したレイアウトを MV-410RGB の本体に保存する場合は、MV-410RGB への保存をクリックします。

4-5. PC にファイルとしてレイアウトを保存

作成したレイアウトを PC にファイルとして保存する場合は、ファイルの保存をクリックし、任意の名前をつけて保存します。保存したファイルをファイルの開くで再度読み出すことができます。

4-6. ソフトウェアの終了

ソフトウェアを終了させるにはウィンドウ右上の×をクリックしてください。

5. レイアウトの出力／画面切替え

5-1. MV-410RGB 本体からの画面出力／切替え

MV-410RGB 前面パネルの SPLIT ボタンを押してから、1～4 の任意の表示チャネル選択ボタンを押すと、あらかじめ MV-410RGB レイアウトエディタで設定した 4 種類の画面パターンを選択して表示することができます。

5-2. レイアウトソフトウェアからの画面出力

メイン画面上部の MV-410RGB でレイアウト番号を選択し、画面切替ボタンを押します。